

磐城時報

編輯 磐城石城郡平町 印刷 磐城石城郡平町 電話 四四〇 印刷部 磐城石城郡平町 電話 四四〇 發行所 磐城石城郡平町 電話 四四〇 廣告料 一月十元 三月三十元 半年六十元 一年一百元 印刷費 別計 電話 四四〇 日刊 (日曜、祭日) 休刊

ベストメンバーを整え 参加校猛練習

白熱的歓迎をうけつゝ 本中等野球近づく

本社主催第三回縣下中等學校野安球大會は第一日目の組合せが既に決定し、平商業學校對、田村中學校、安積中學校對、相馬中學校の兩組共白熱的大接戦を豫想されてゐる、参加各中學のメンバー左の如く各校共猛烈な練習を續けてゐる。

(積)	橋前青新 鈴江冬神 武大佐
(田)	本川山田 木尻泉 田藤越藤
(村)	大布大吉 渡朝下 戸小
(警)	平谷平田 邊妻田 田野
(中)	弟(兄)
(馬)	赤森草佐 星菅松 渡沼
(相)	遠齋荒原 増佐牛 大矢 横欄
(投)	藤藤川田 田藤 渡井 口 木
(捕)	今大渡新 猪龜半 光 脇
(雙)	村谷邊妻 村田 谷家澤

理髮組合紛擾の 調停不調に終る

愈々比佐組合長彈劾の 臨時總會開催

平警察署管内理髮組合に於ける愛慮した結果數日前から調停の比佐組合長彈劾に起因する紛擾を執るに至り、比佐組合長は益々激しくなり圓滿な解決は對し組合員多數の意氣が比佐組到底覺束ない状態となつたが、植合長彈劾の意氣込である事情を田管内組合長相良千之助、四倉告げ辭職するやう勧める處があ同猪狩正雄、東部副組合長相良つたが、之に對し比佐組合長は皆吉の三氏は此の紛擾の成行を之を拒絶したので三名の調停者

撞球大會

平町田町ビリアード一の井では十四日午前十一時から撞球競技大會を開催するが、權利十本、畫食付會費五十錢、本競技の外カップ戦、猛者戦等がある。

講演と座談會

平十三日會例會は十三日午後七時から四丁目マルトモビルに開き辯護士大峯康氏の破産の概念と題する講演がある、終つて大峯氏を中心とし破産に關する座談會がある。

道路改修

磐崎村小野田炭礦より同村梅ヶ平第一小學校に通ずる村道約三百間は屢々豪雨で欠壞甚だしく小學児童通行に少なからぬ危険を感ずるので父兄等は村當局に再三改修方を陳情したが財政逼迫を理由に一向埒があかぬのに業を煮やし十日父兄並に児童等二百名でこれが改修を行つた。

水満載の自動車 豊間で子供を轢く

平町田町野崎自動車部運轉手伊達那長岡村生れ吉田源之助(三三)はシボレーA型一二七八號貨物自動車に水を滿載し平町から豊間村大字豊間に向ふ途中沼の内地内道上で遊戯中の幸重の四男鈴木愛藏(九)を轢き倒し重傷を負はせたので高久村鈴木醫院で手當中である、運轉手は該自動車には無免許であつた。

石城將棋大會

平棋友會主催石城將棋大會は十七日午前九時から平町五丁目吉田屋料理店に開催、會費五十錢の如く何れも可なり低落してゐる。

坑夫と駈落

郡勿來町大字出藏勿來炭坑佐藤惣重郎内妻紺野きく(二八)は去る六日十一歳の小供と夫を捨て坑夫に拂ふべき三百圓を持つて同坑々夫中島龜三郎(三〇)と行衛を晦ました。

外遊だより

第一信 ロンドンにて 高木武雄

議會では印度關係の豫算案に關して印度に輸出する綿布の數額が一年は戦前の半分に落ち、今年に入つてからでも今日迄の傾向に徴するに昨年度の半分に減退するだらう、今年の正月には日本品と英國品と比較すると三對二の率で日本品の方が羽張りを利かし

縣下中等學校野球大會 初日組合せ決定

▲六月二十日(土)正午入場式
▲同午後零時半第一回戦

平商業學校 田村中學校 相馬中學校 安積中學校

第二日 午前八時開始
會場 磐城中學校球場

第一回戦 第二回戦七回ゲーム
決勝戦 九回ゲーム

試合方法
試合球 大阪丸善運動具店オールジャ
パンリーグボール
選手宿舎 住吉屋本店

主催 磐城時報社

は随意に安價な國から物資を輸入し又安價な資本を輸送しては自給自足を努めます、印度人が日本の綿布を輸入しやうとも、米國の資本を取り入れて印度内で紡績工場を始めやうとも本國政府の力では抑へることは六ヶ敷いでせう。それに關せず英本國では毎週十圓の失業手當を受けて海外から輸入する肉をたへ高い煙草をふかし乍ら、安い賃金なから御免蒙りますと高くこまつて居る失業者が大した數です失業救済資金が年額驚く勿れなつた九億圓です、それで遊んで居る人はうよくして居ても人不足になつて居ます。女中などは大拂底で大抵の家では女中がありません、週給十圓か最低賃金で無論日曜は休み、使ひ方が荒かつたり待遇が悪かつたりすれば直ぐに左様なります、巡査や乗合自動車、の運轉手が週給四十圓から五十圓見當です、賃金が高いだけに物價は佛伊兩國に比べると素的に高い様ですが食料品だけは特別に安い様です、パンが一斤十錢位、牛乳は一合三錢五厘、牛肉は一斤五十錢から七十錢位、鶏卵は日本が一番大きい位のもので輸入物なら四錢、地玉で六七錢どころです、つまり食つて生きるだけは安く上る國です

